



実社会への働きかけをとおして コミュニケーション力を育てる

松蔭中学校・高等学校(神戸市)



阪急西宮ガーデンズでのステージ。
最後はプロジェクト参加生徒46人全員がはつらつとした動きをみせた

2月27日、阪

急西宮ガーデンズ4階屋外のステージに、卒業を間近にひかえた松蔭高校3年の生徒たちが立った。同校の有志生徒による環境

啓発活動「BEP(ブルー・アースプロジェクト)」のイベントだ。

「地球環境のために、国産のお米を食べましょう!」。おなじみの制服に身を包んだ生徒たちは元氣よくアピール。歌・ダンス、演奏、寸劇、クイズなど、ステージは約1時間半に及んだ。

またこの日、生徒の呼びかけに応えたガーデンズ内計15の協力店舗に、オリジナルの飾り付けや米を用いた特別メニューが登場。1階フロアでは活動の主旨を説明する展示が行われた。

「店舗に足を運び協力をお願いするなかで、店の方が次第



協力店舗に掲げられたオリジナルマスク
コート(阪急西宮ガーデンズ「つるはん」)

に表情をやわらげ、理解を示してくれる。そんな喜びをたくさん体験できました。神戸・大阪・西宮での3回のイベントにも夢中で取り組みました」とチームの副代表を務めた三好理央さんは語る。参加生徒にとって、

BEPは中高6年間にわたる学園生活の総決算になった。

先輩から後輩へ 生徒が育てる活動

松蔭高校が、社会教育の一

校長先生に質問



平井豊和校長

中学(高校)時代にやっていたクラブ活動は?
ほんの少し弓道を

中学(高校)時代の得意科目は?
社会、数学(残念ながら国語は苦手でした)

尊敬する人は?
妻、イチロー選手

生徒にぜひ読んでほしい1冊は?
アドルフ・ポルトマン 「人間はどこまで動物か 新しい人間像のために」(高木正孝訳、岩波新書)

現在の趣味は?
小旅行(特にドライブ)

先生のモットーは?
多様性の尊重

【学校データ】

設立…1892年 生徒数…中学校564人・高等学校601人(2010年4月現在) 基本理念…「オープンハート」

環として進学先の決まった3年生を対象とするチャレンジプログラム(現「チャレプロ」)を開始したのは2000年。BEPはそのプログラムの一つだ。フォロ―役を務める谷口理先生は「テーマの学習を通して生徒たちの心に火を灯したら、後は事故などがないよう気を配るだけ。行動するのは彼女たち自身です。実社会との対話は、社会性とコミュニケーション力を大きく育てます」と説明する。

昨年には、阪神間の大学に進学した卒業生3人によって「大学部」も結成された。「BEPの経験者として、活動の魅力や改善点を後輩たちに伝え、より良い活動にしていきたい」(中村亜津美さん、行武愛さん、神門かなさん)。先輩から後輩へ、松蔭のBEP活動は生徒自身の手で年々成長していく。